

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

<電気配線工事について>



注意

- 電気設計および電気工事は資格を有する電気工事店に依頼してください。
- 電気自動車や住宅側で使用する電化製品に設定されている電流値などを考慮して、電気設計および主幹ブレーカーの選定を行ってください。その際に、電力プラン契約内容の見直しが必要になる場合があります。
- 充電BOX 1個ごとに必ず専用回路を敷設してください。
- ジョイントボックスを用意して、1回路ごとに必ず過電流保護付き漏電ブレーカーを設置してください。
- AC200V用電源線にはφ2.0~2.6の3心単線、AC100V用電源線にはφ1.6~2.0の3心単線(アース線含む)を使用してください。
- 充電BOXおよび本体には必ずD種接地工事を行なってください。
- 絶縁抵抗計(メガー)をコンセントや端子台の極間で使用しないでください。極間の電子部品が破損します。
- 電気配線工事は「電気設備の技術基準」および「内線規定」に基づいて施工してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

🔑 ポイント

- 施工後、ダイヤル錠解錠シール、取扱説明書(兼保証書)を必ずお客様にお渡しください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

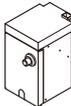
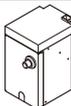
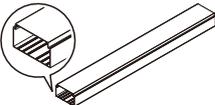
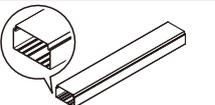
- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決められていますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

■梱包明細表

【1】サイド柱

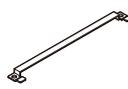
名 称	略 図	員 数	
		1BOXタイプ	2BOXタイプ
サイド柱 1BOXタイプ (L)		1	—
サイド柱 1BOXタイプ (R)		1	—
サイド柱 2BOXタイプ (L)		—	1
サイド柱 2BOXタイプ (R)		—	1
上カバー		1	1

【2】センター柱(充電BOX入り)

名 称	略 図	員 数				
		1BOXタイプ		2BOXタイプ		
		AC100V用	AC200V用	AC100V/200V用	AC200V/200V用	
充電BOXセット	充電BOX(AC100V)		1	—	1	—
	充電BOX(AC200V)		—	1	1	2
	充電BOX取付金具 (充電BOX1台につき2個)		2	2	4	4
	アース線 (充電BOX1台につき1本)		1	1	2	2
	ダイヤル錠解錠シール (充電BOX1台につき2枚)		2	2	4	4
	【2-1】M4×10(+) (充電BOX1台につき10本)		10	10	20	20
センター柱 1BOXタイプ		1	1	—	—	
センター柱 2BOXタイプ		—	—	1	1	
カバーガイド金具		2	2	2	2	

■梱包明細表(つづき)

【2】センター柱(充電BOX入り) (つづき)

名 称	略 図	員 数			
		1BOXタイプ		2BOXタイプ	
		AC100V用	AC200V用	AC100V/200V用	AC200V/200V用
カバー受け金具		1	1	1	1
センター柱固定金具		4	4	4	4
上カバー固定金具A		1	1	1	1
注意シール		1	1	1	1
連絡先シール		1	1	1	1
【2-2】φ4×8(+) <small>ナベ</small> タッピンネジ 3種		6	6	6	6
【2-3】M5 六角ナット 1種		6	6	6	6
【2-4】φ4×8(+) <small>トラス</small> タッピンネジ 3種 D=8		6	6	6	6
【2-5】M5×14 六角穴付ボルト(SW)		6	6	6	6
取付説明書<A543>	—	1	1	1	1
取扱説明書<UA198>	—	1	1	1	1

【3】バックパネル

名 称	略 図	員 数
バックパネル		1

1. EVポール施工前の確認事項

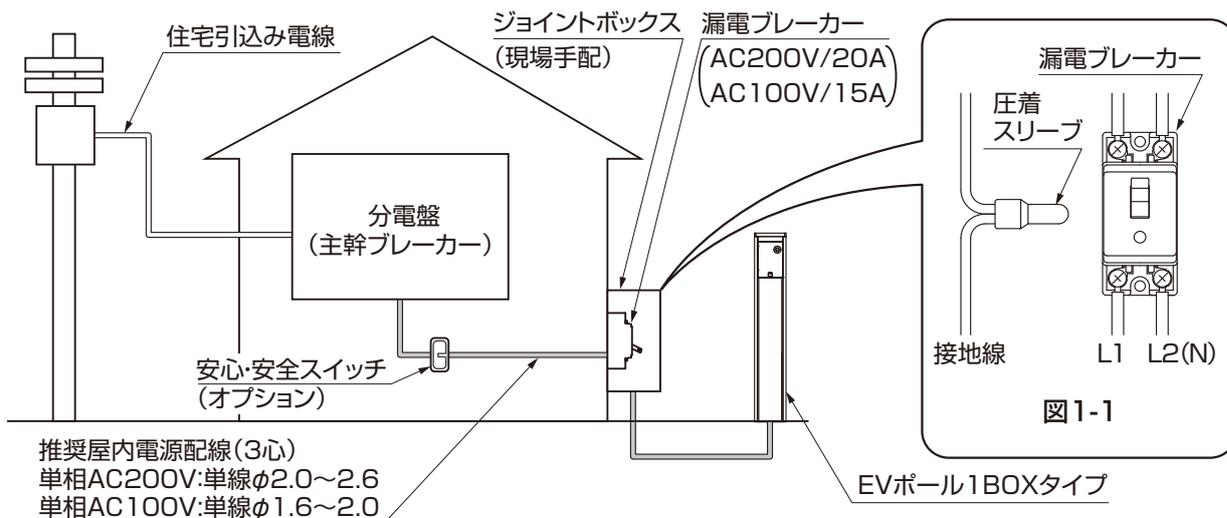
※ジョイントボックスからEVポールへの配線工事はP.10を参照ください。

1-1 住宅の電気設計と電源配線について

⚠ 注意

- 電気自動車の充電定格容量（200V/20A、100V/15A）を考慮した電気設計、電源配線をしてください。
- 電気設計および電気工事は資格を有する電気工事店に依頼してください。

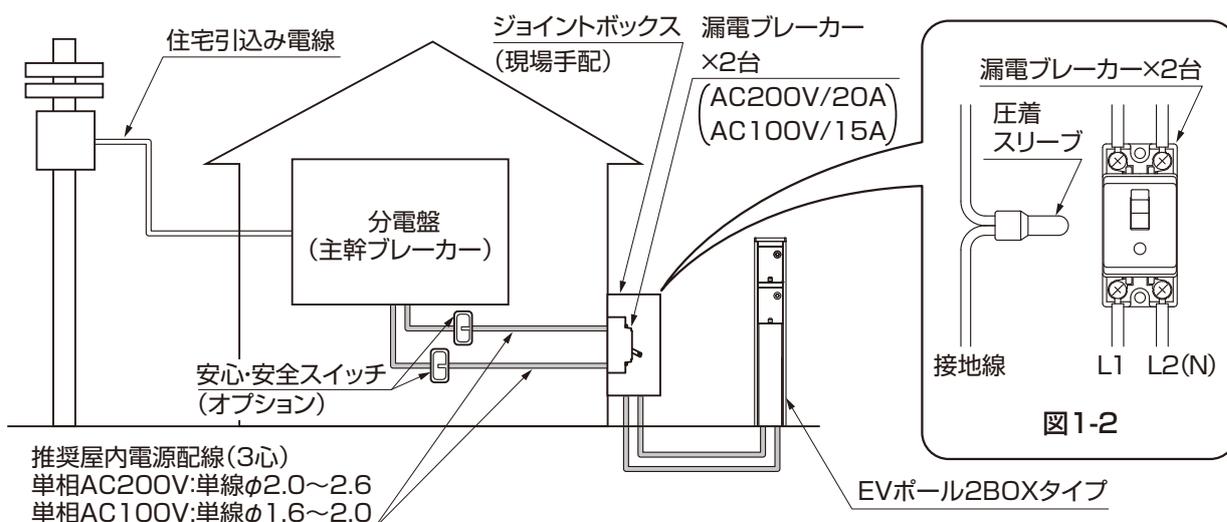
(1) 1BOXタイプの場合



⚠ 注意

- 住宅の分電盤（主幹ブレーカー）から、EVポールへ必ず専用電源回路（1回路）を敷設してください。
- ジョイントボックスを用意（現場手配）して、必ず過電流保護付き漏電ブレーカーを設置してください。（図1-1参照）

(2) 2BOXタイプの場合



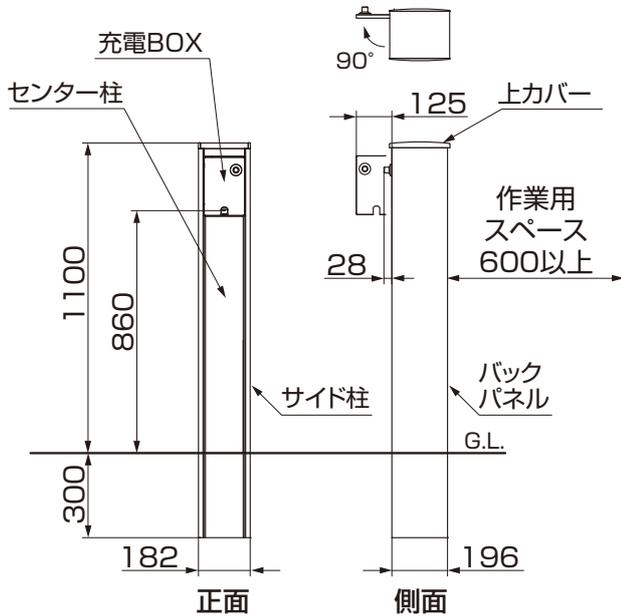
⚠ 注意

- 住宅の分電盤（主幹ブレーカー）から、EVポールへ必ず専用電源回路（2回路）を敷設してください。
- ジョイントボックスを用意（現場手配）して、必ず1回路ごとに過電流保護付き漏電ブレーカーを設置してください。2BOXタイプの場合、漏電ブレーカーが2台必要です。（図1-2参照）

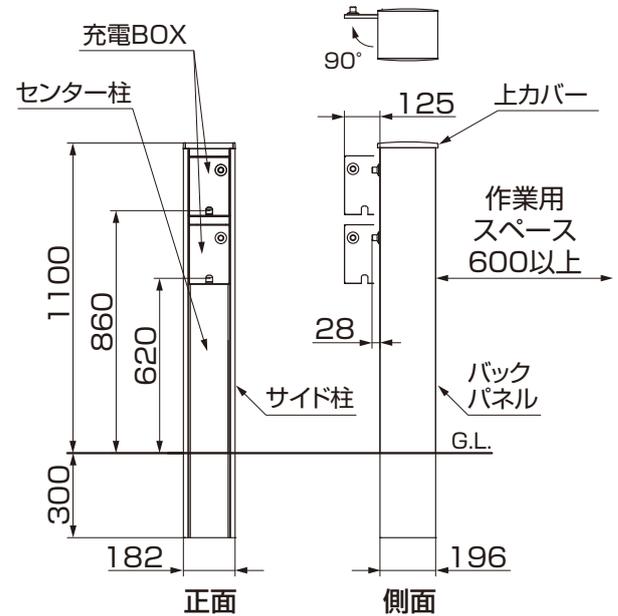
2. 基本寸法図および各部の名称

2-1 EVポール本体

(1) 1BOXタイプ



(2) 2BOXタイプ



2-2 充電BOX

(1) 各部名称

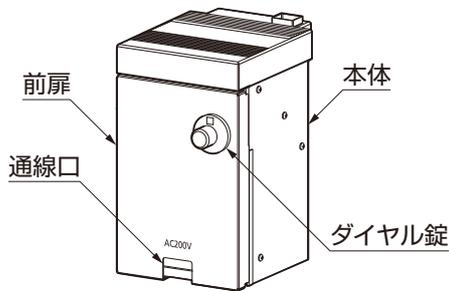


図2-1 正面

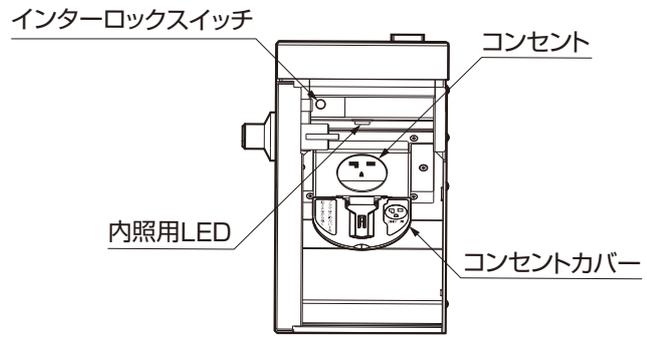


図2-2 開状態

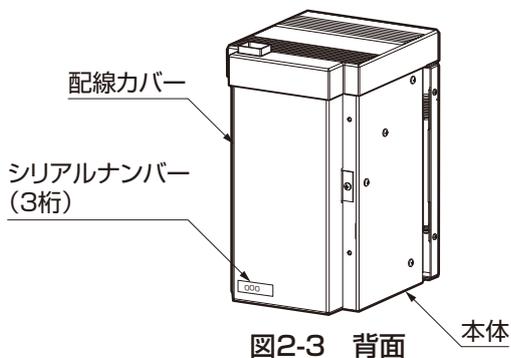


図2-3 背面

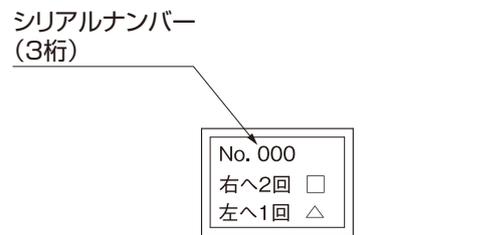


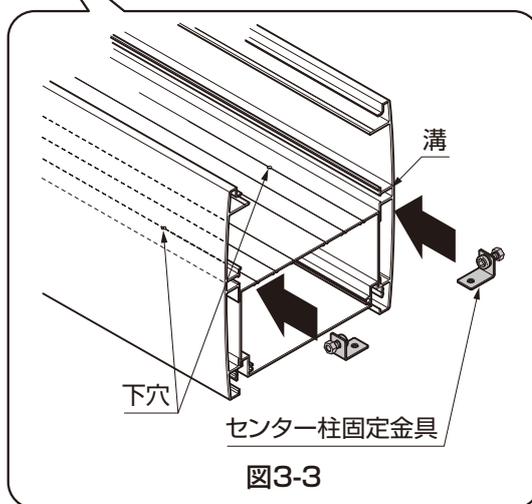
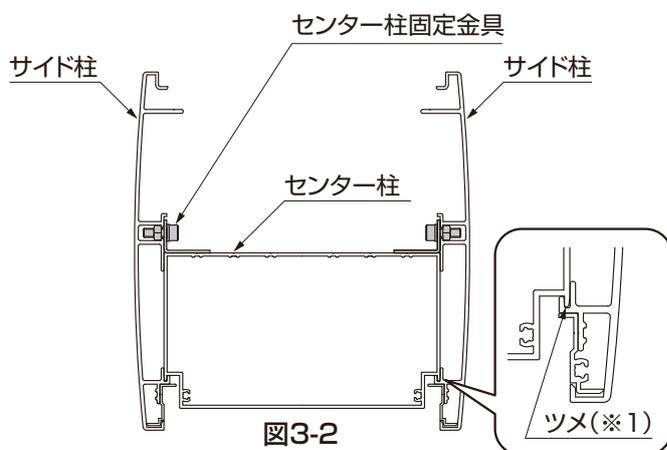
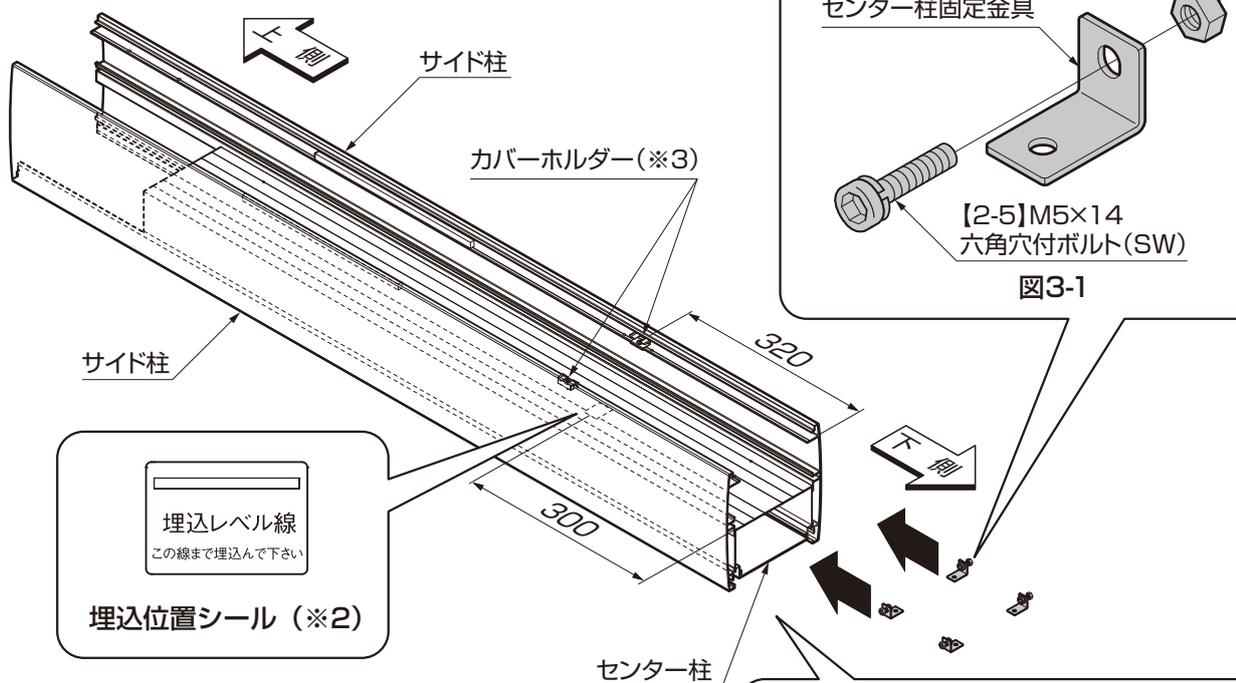
図2-4 ダイヤル錠解錠シール (2枚)

補足

- 充電BOX背面のシリアルナンバーとダイヤル錠解錠シールのシリアルナンバーが一致することを確認してください。(図2-3、図2-4 参照)
- ダイヤル錠解錠シールの1枚は取扱説明書の17ページへ貼付けてください。残りの1枚はお客様へ渡してください。

3. 基礎施工前の準備

3-1 柱の組立て



①センター柱固定金具に[2-5]を通して[2-3]を手回して仮締めしてください。(図3-1 参照)

補足

●図3-1を4セット組立ててください。

②センター柱のツメ(※1)をサイド柱にはめて下側端部の位置を合わせてください。(図3-2参照)

③図3-1の[2-3]を緩めて、センター柱固定金具をサイド柱の溝にスライドして挿入してください。(図3-3参照)

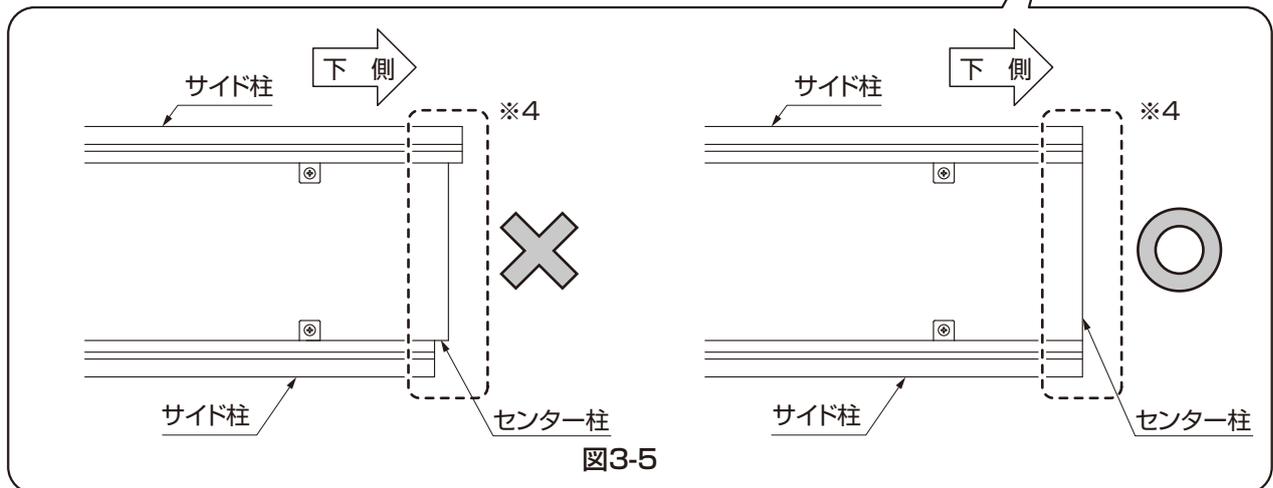
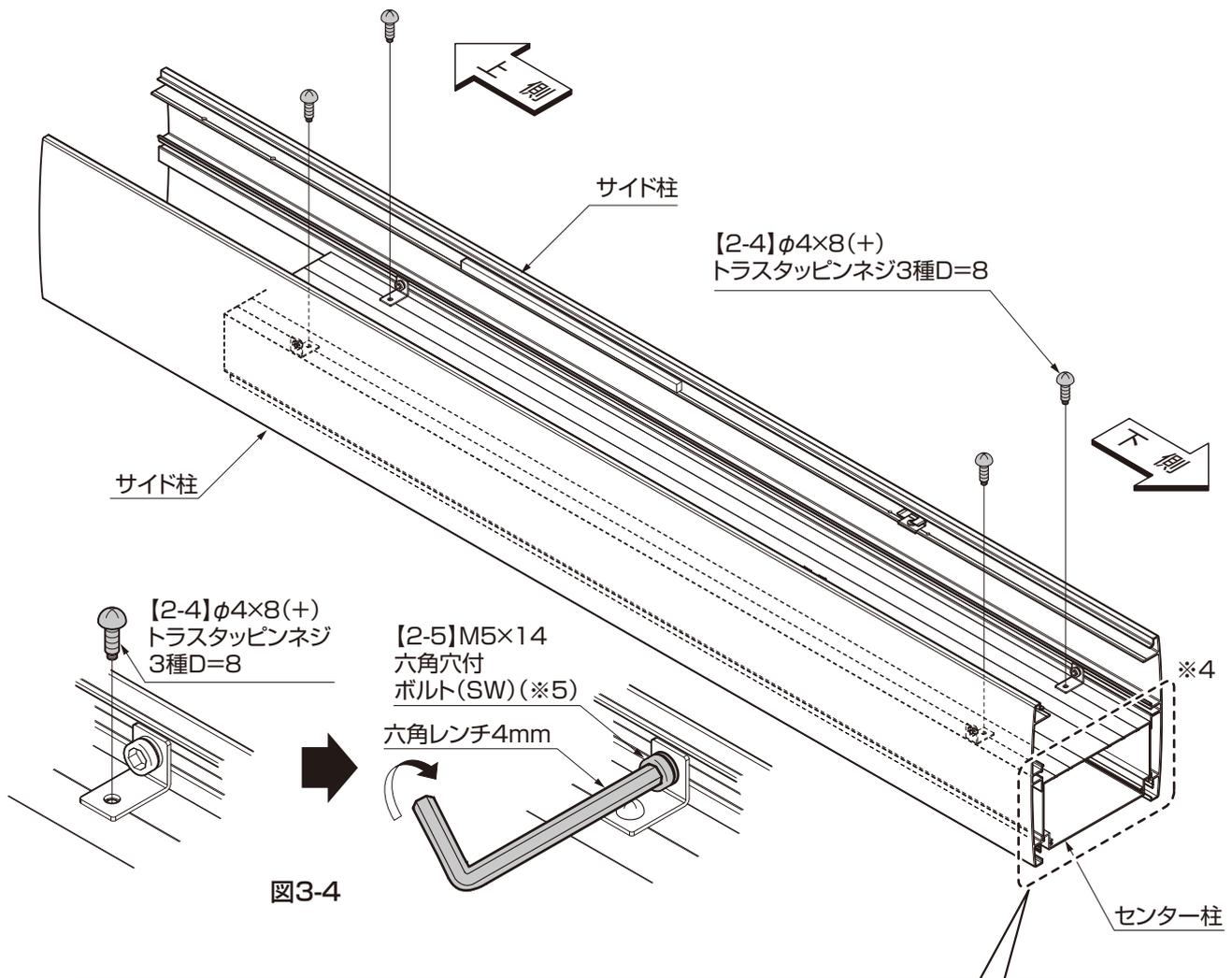
④センター柱の下穴にセンター柱固定金具をあわせて[2-5]を手回して仮固定してください。(図3-3参照)

補足

●センター柱とサイド柱には上下があります。(※2)(※3)

●センター柱固定金具を4個全て仮固定してください。

3. (つづき)



⑤センター柱固定金具を【2-4】でセンター柱に取付けて、【2-5】を増し締めしてください。(図3-4 参照)

ポイント

- センター柱とサイド柱の下側端部がずれないようにしっかりと押えながら【2-5】を締め付けてください。(※4) (図3-5 参照)
- 【2-5】は六角レンチ4mmで、スプリングワッシャーがつぶれるまで締め付けてください。(※5) (図3-4 参照)

3-2 カバー部品の取付け

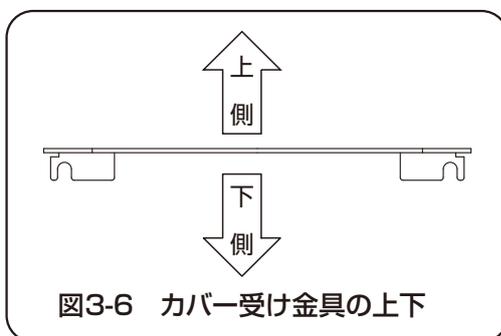
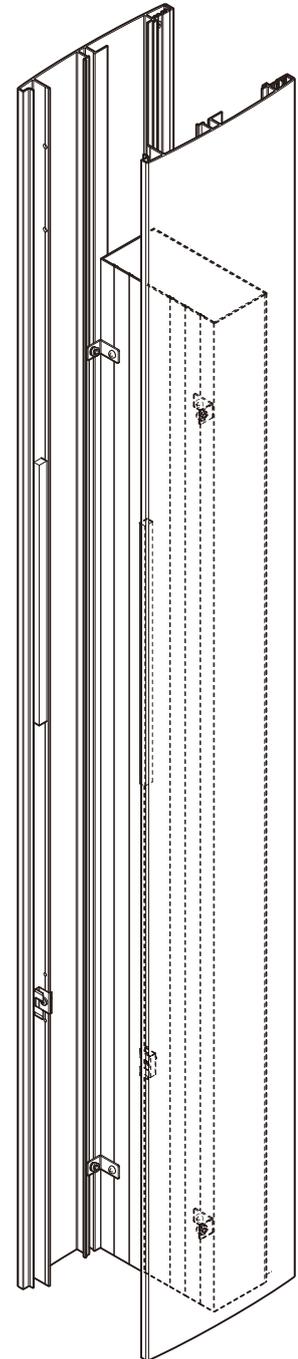
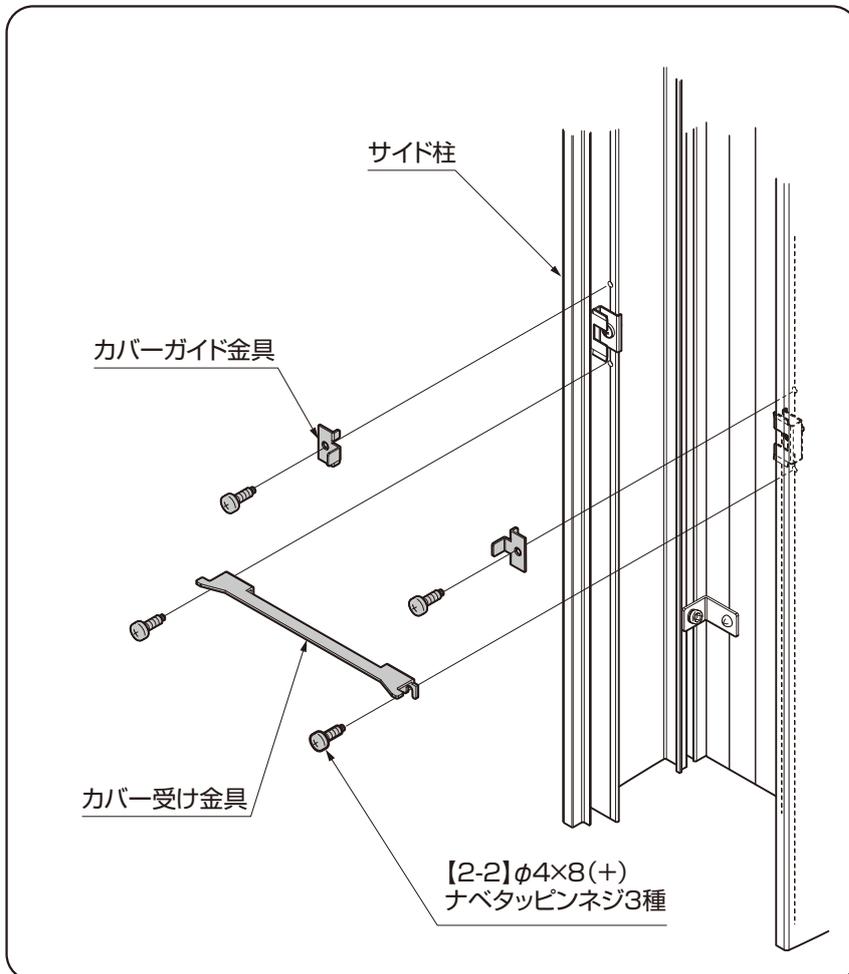


図3-6 カバー受け金具の上下

- ①サイド柱にカバーガイド金具を【2-2】で取付けてください。
- ②サイド柱にカバー受け金具を【2-2】で取付けてください。

ポイント

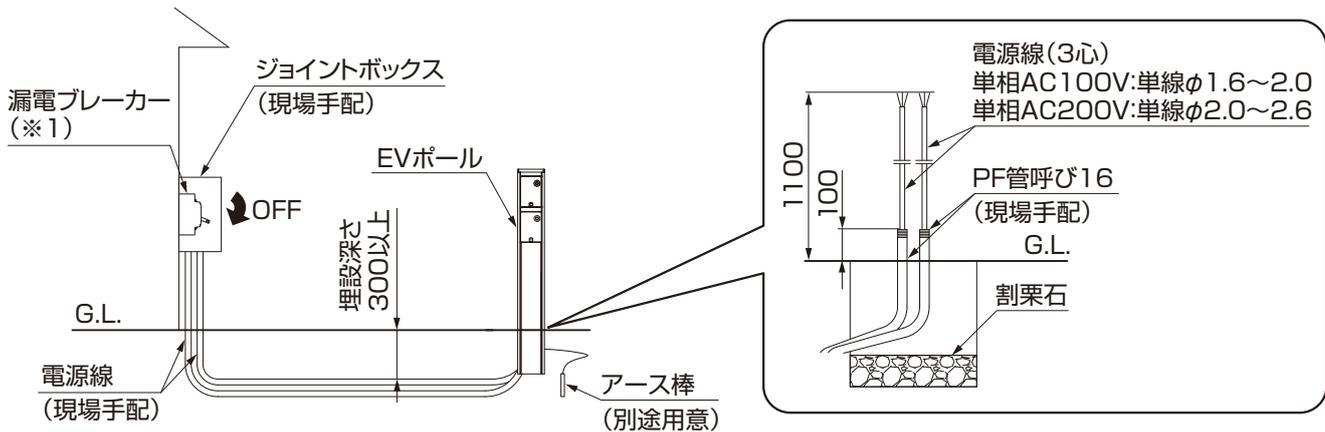
- カバー受け金具には上下があります。(図3-6 参照)

4. 屋外配線と基礎施工

4-1 屋外配線工事 ※図は2BOXタイプの場合を表します。1BOXタイプの場合、電源線は1回路になります。

⚠ 注意

●電気設計および電気工事は資格を有する電気工事店に依頼してください。



- ①漏電ブレーカー(※1)からEVポール施工位置へ、電源線を1回路ずつ埋設し、配線配管をしてください。
- ②アース棒を地面に打ち込み、EVポールにはD種接地工事を行なってください。

⚠ 注意

- ジョイントボックス内の漏電ブレーカー(※1)を必ず「OFF」にして作業をおこなってください。
- 漏電ブレーカーからEVポールへは1回路ずつ専用回路を敷設してください。EVポール内で電源線を分岐することは出来ませんので、2BOXタイプの場合は必ず2回路を敷設してください。

4-2 基礎施工 ※図は2BOXタイプの場合を表します。

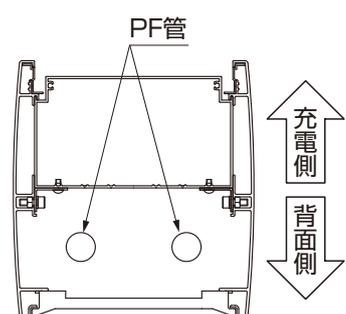
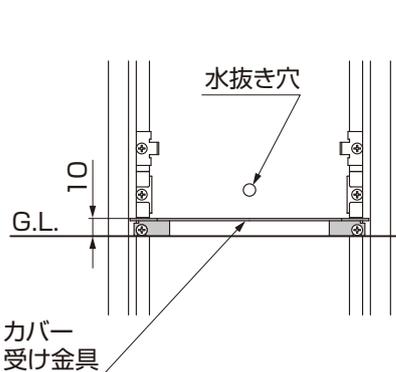
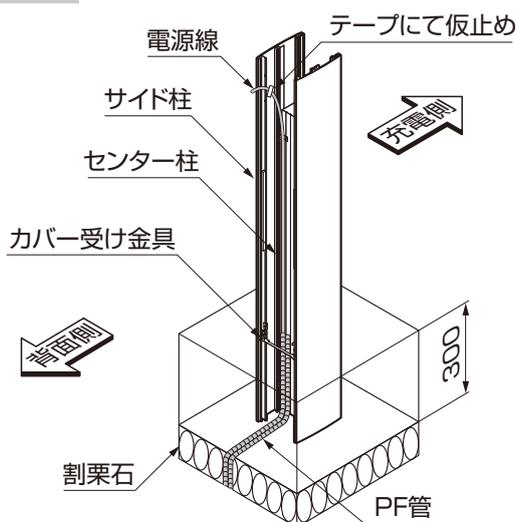


図4-1 G.L.位置

図4-2 配管立上位置

- ①基礎穴を掘り割栗石を敷いた後、配線を柱内に引き込んで、G.L.ラインまで柱をモルタルで埋めてください。
- ②引き出した配線をサイド柱にテープなどで仮止めしてください。

🔑 ポイント

●カバー受け金具を埋め込まないように気をつけてください。バックパネルの取付けが出来なくなります。(図4-1参照)

5. 充電BOXの取付け

5-1 充電BOXの取付け ※2BOXタイプの取付けはP.12「2BOXタイプの場合」を参照してください。

(1) 1BOXタイプの場合

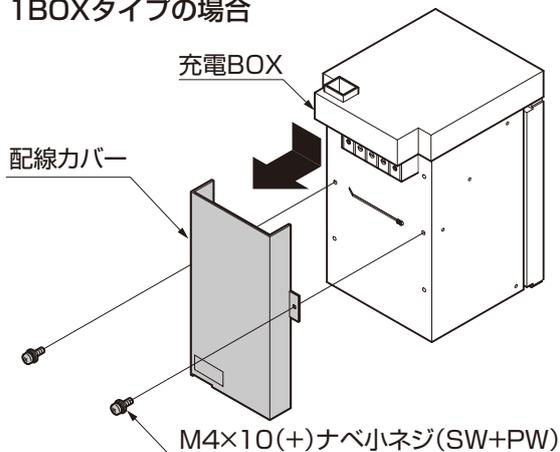


図5-1

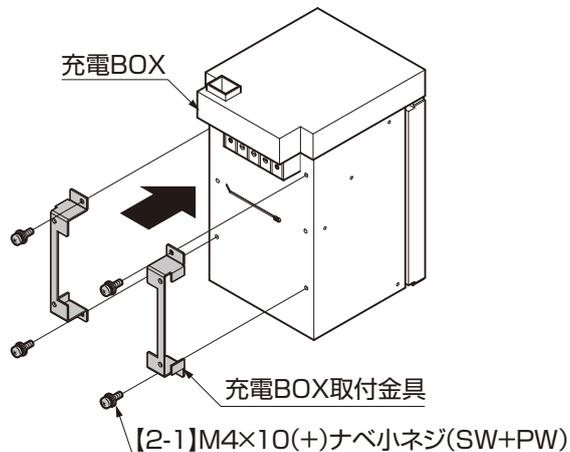


図5-2

- ① 充電BOXのM4×10(+)-ナベ小ネジ(SW+PW)を外して、配線カバーを取外してください。(図5-1参照)
- ② 充電BOX取付金具を充電BOXに、【2-1】で取付けてください。(図5-2参照)

補足

- 取外した配線カバーとネジは「5-3 配線カバーの取付け」にてもう一度使用しますので大切に保管してください。

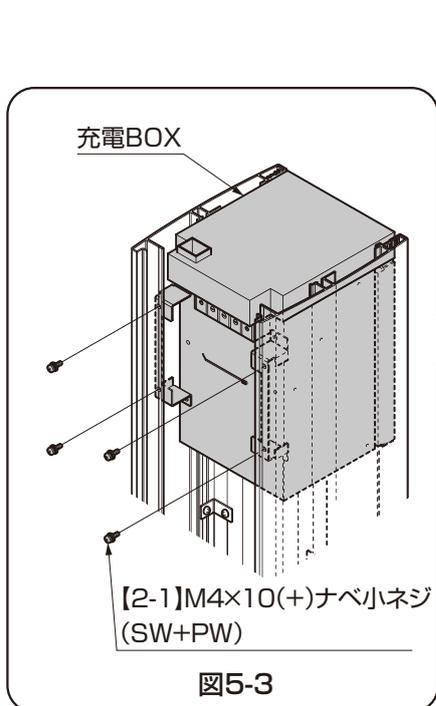


図5-3

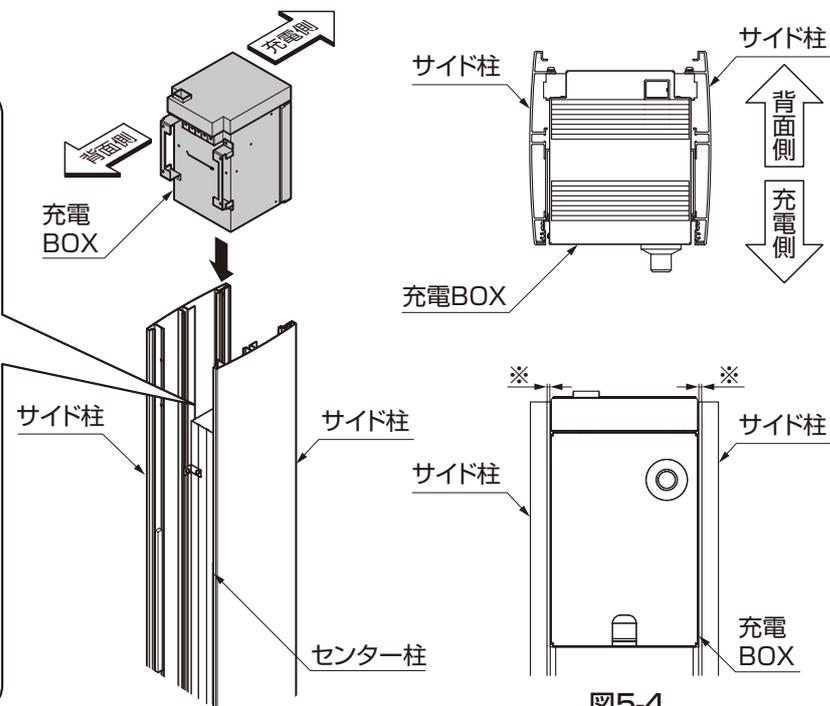


図5-4

- ③ 充電BOXをサイド柱の上側からスライドさせてセンター柱の上に乗せてください。
- ④ 充電BOXを背面側から【2-1】で取付けてください。(図5-3参照)

ポイント

- 充電側から見て充電BOXの隙間(*)が均等であることを確認して【2-1】で取付けてください。(図5-4参照)

5. (つづき)

(2) 2BOXタイプの場合 ※充電BOXの上段・下段 (AC100VまたはAC200V) は任意で選定してください。

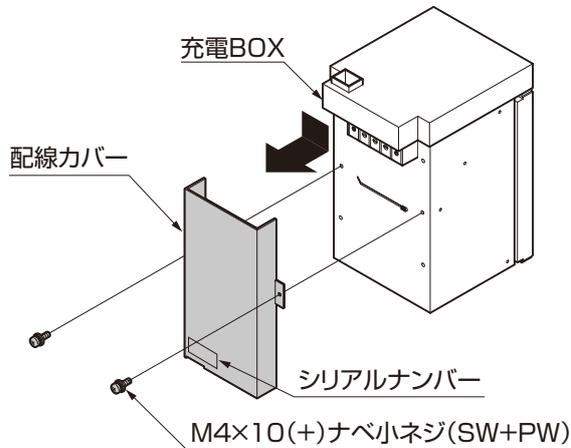


図5-5

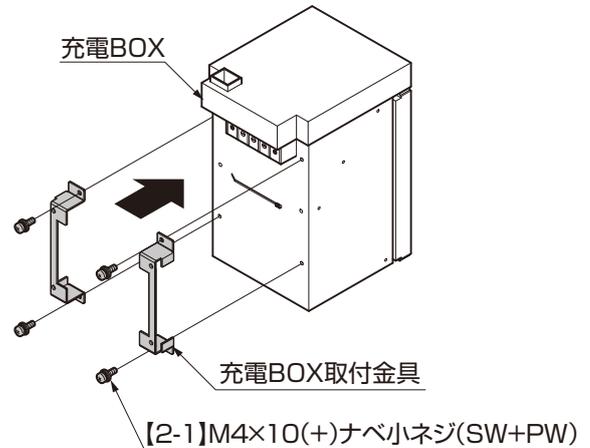


図5-6

- ①各充電BOXのM4×10(+)+ナベ小ネジ(SW+PW)を外して、配線カバーを取外してください。(図5-5参照)
- ②充電BOX取付金具を各充電BOXに、[2-1]で取付けてください。(図5-6参照)

補足

- 取外した配線カバーとネジは「5-3 配線カバーの取付け」にもう一度使用しますので大切に保管してください。
- 配線カバーに貼付けてあるシリアルナンバーを各充電BOXごとにメモをしてください。

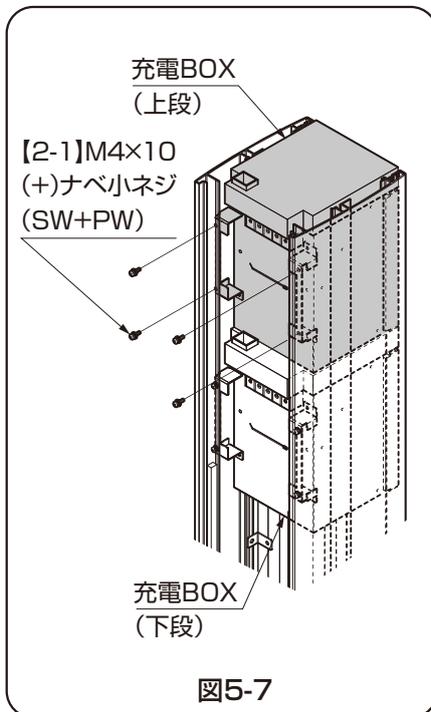


図5-7

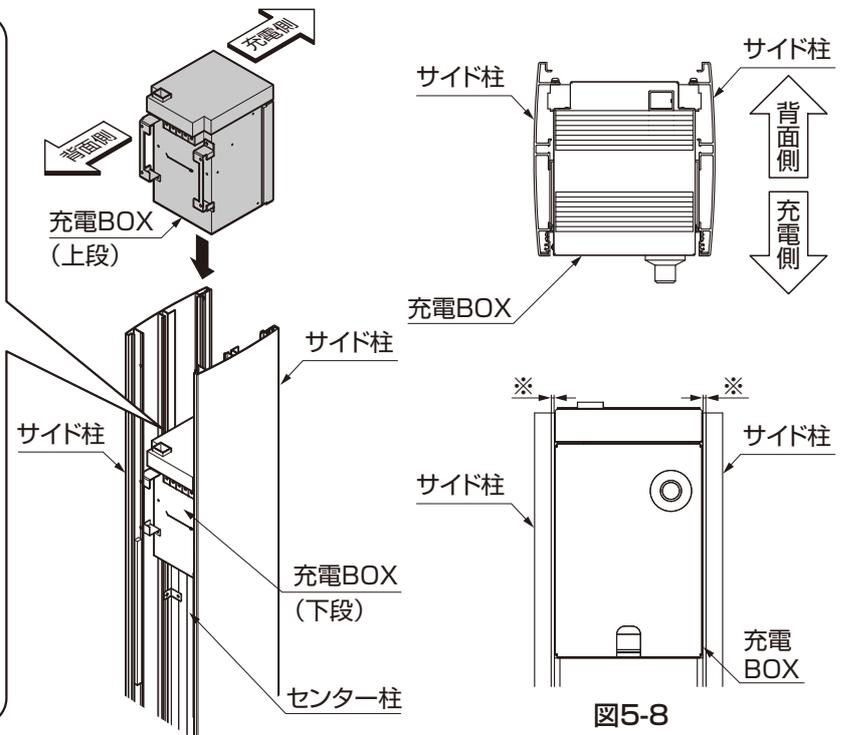


図5-8

- ③充電BOX(下段)を「5-1 充電BOXの取付け(1)1BOXタイプの場合」を参照して取付けてください。
- ④充電BOX(上段)をサイド柱の上側からスライドさせて、充電BOX(下段)の上に乗せてください。(図5-7参照)
- ⑤充電BOX(上段)を背面側から[2-1]で取付けてください。(図5-7参照)

ポイント

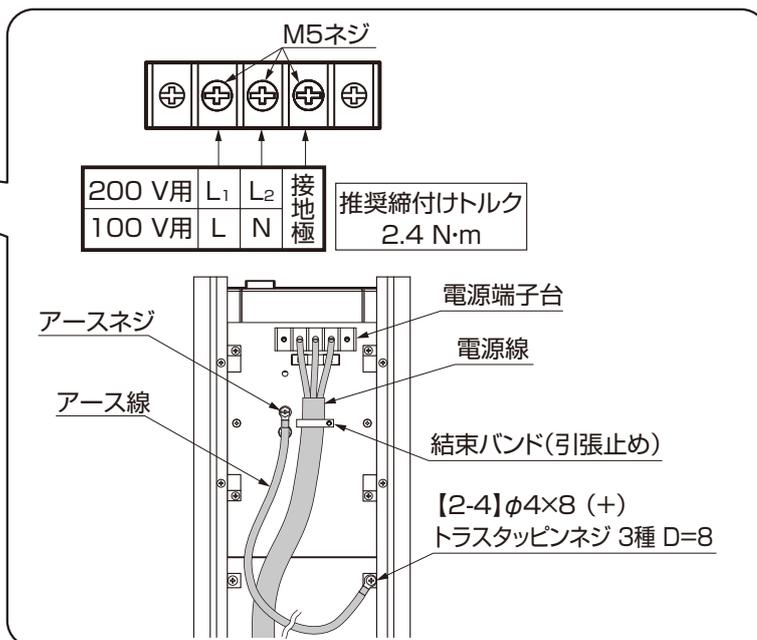
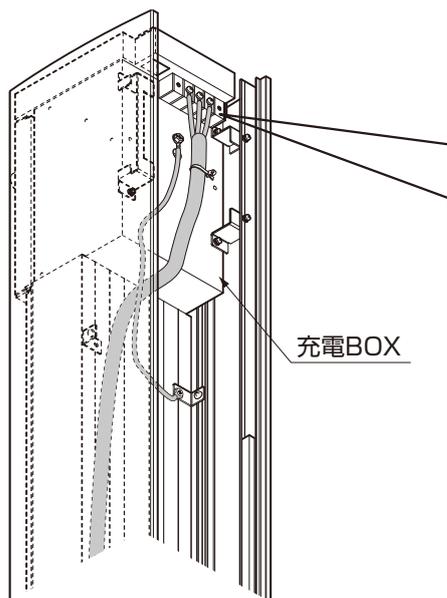
- 充電側から見て充電BOXの隙間(*)が均等であることを確認して[2-1]で取付けてください。(図5-8参照)

5-2 充電BOXの配線

警告

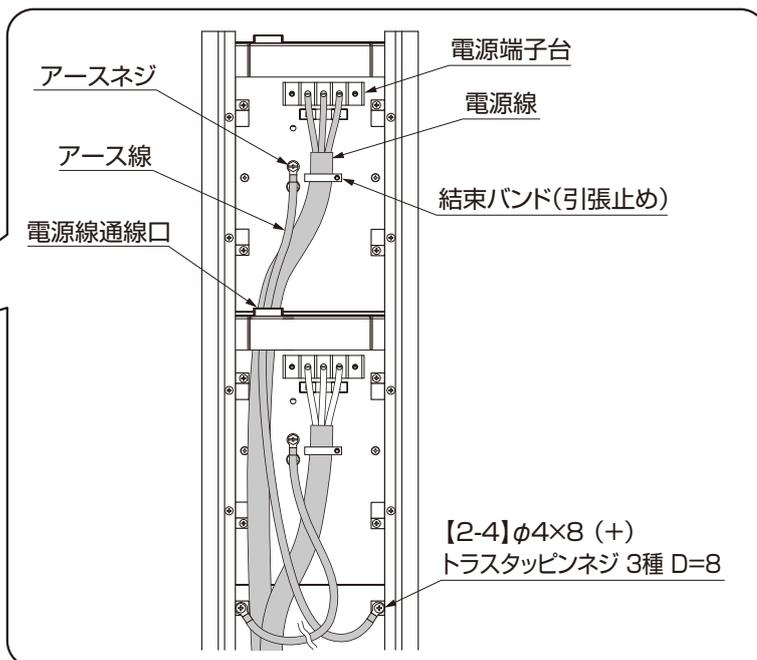
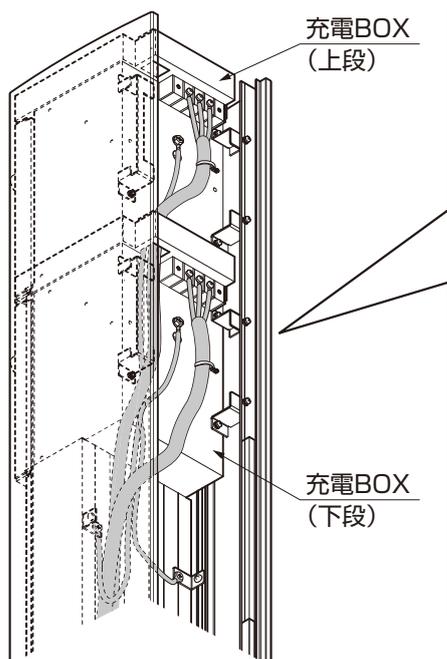
- 電源端子台への配線は、極性を確認して間違いがないように、確実にこなってください。誤配線は発熱や火災による事故の原因になります。

(1) 1BOXタイプの場合



- ①電源線を結束バンド(引張止め)でまとめて、電源端子台に配線してください。
- ②アースネジとセンター柱を固定している[2-4]を外し、アース線と共締めしてください。

(2) 2BOXタイプの場合



- ①「5-2 充電BOXの配線 (1)1BOXタイプの場合」を参照して配線してください。充電BOX(上段)への配線は、充電BOX(下段)の電源線通線口を通してからおこなってください。

5. (つづき)

5-3 配線カバーの取付け

ポイント

- 2BOXタイプの場合、各充電BOXのシリアルナンバーを確認して間違えないように各配線カバーを取付けてください。

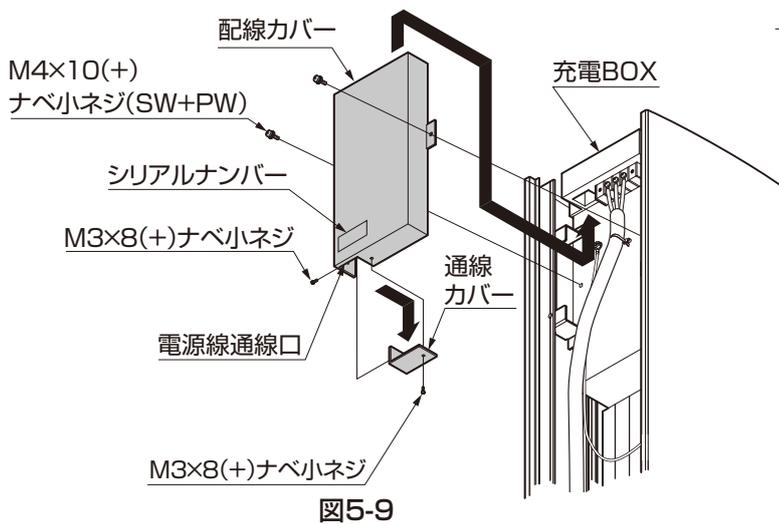


図5-9

【2-2】φ4×8 (+) ナベタッピンネジ 3種

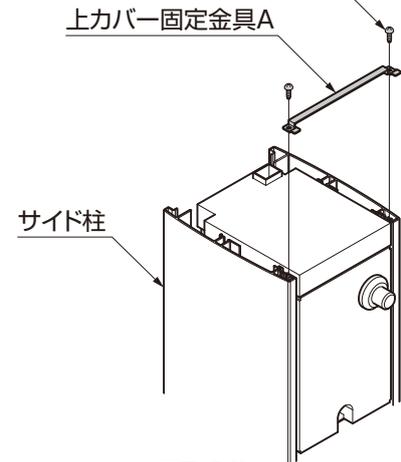
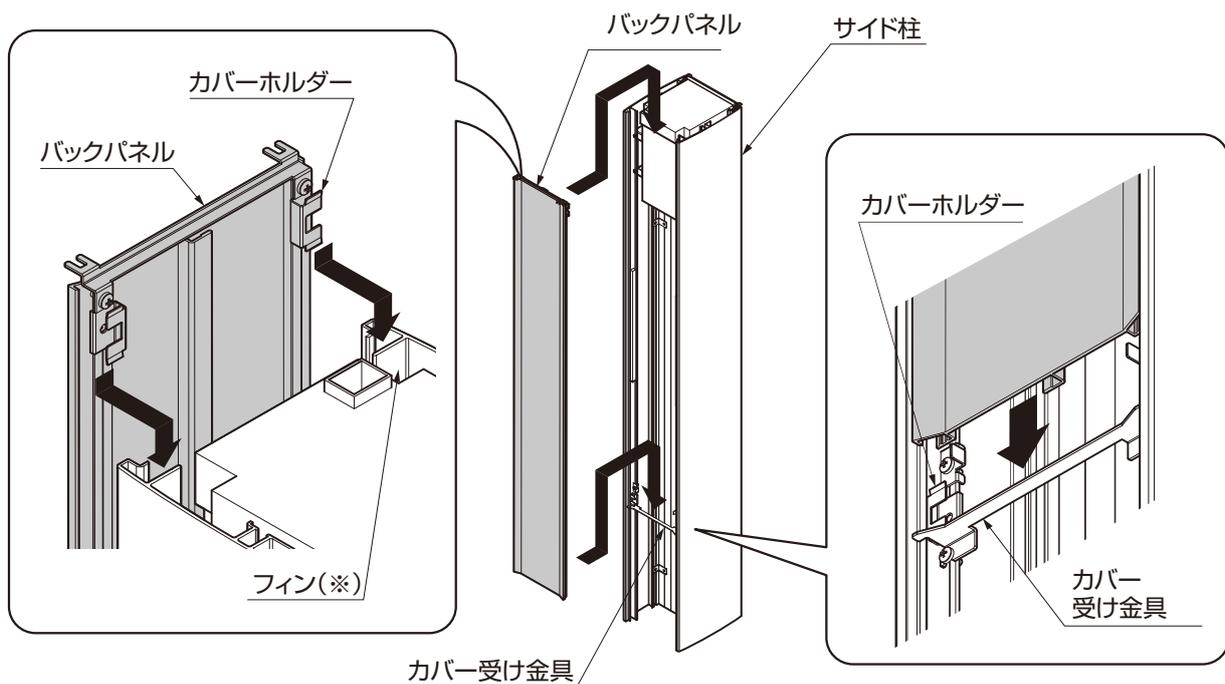


図5-10

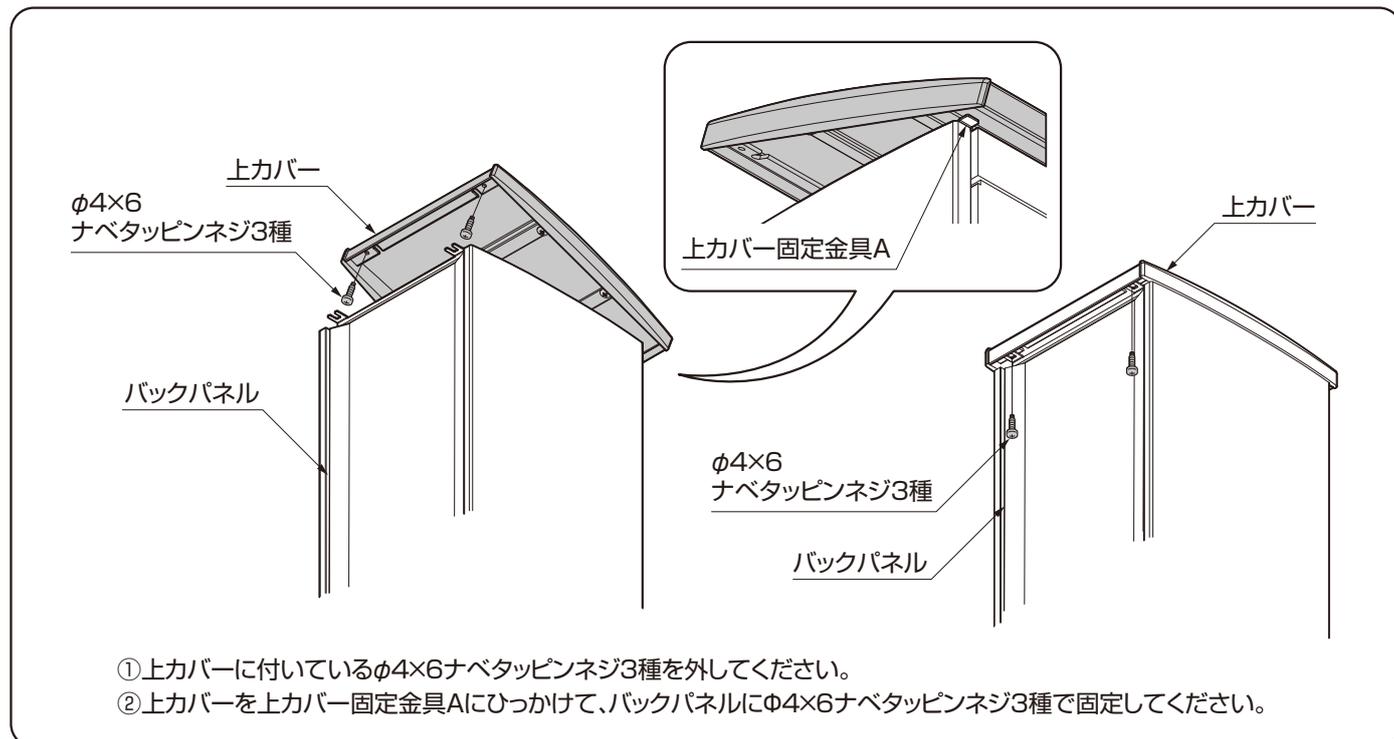
- ①配線カバーからM3×8(+)ナベ小ネジを外して通線カバーを取外してください。(図5-9参照)
- ②配線カバーを充電BOXにM4×10(+)ナベ小ネジ(SW+PW)で取付けてください。(図5-9参照)
- ③上カバー固定金具Aをサイド柱に【2-2】で取付けてください。(図5-10参照)

6. バックパネルの取付け



- ①バックパネルのカバーホルダーをサイド柱のフィン(※)に上からスライドし、バックパネルの下側をサイド柱のカバーホルダーに通して、カバー受け金具につきあたるまで差込んでください。

7. 上カバーの取付け



8. 注意シールの貼付け

8-1 注意シールの貼付け

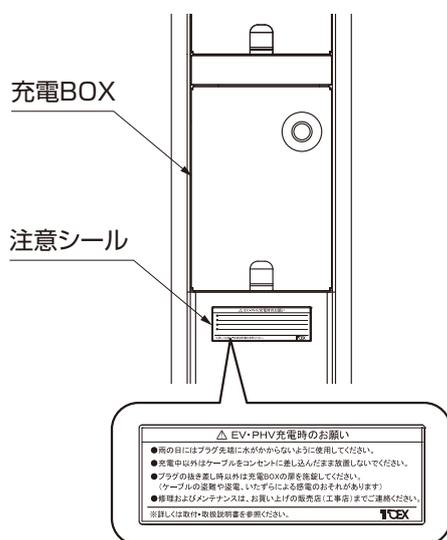


図8-1

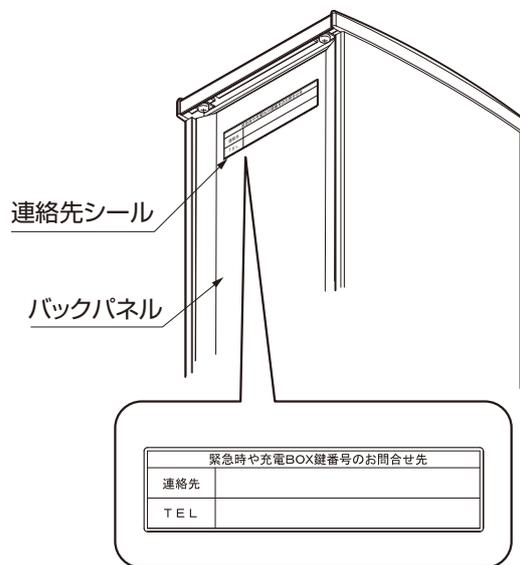


図8-2

- ①注意シール(EV・PHV充電時のお願い)を充電BOXの下側に貼付けてください。(図8-1参照)
- ②連絡先シールに必要な事項を記載してバックパネルの上側に貼付けてください。(図8-2参照)

⚠ 注意

- 注意シールには、EVポールを安全にご使用いただくために必要な内容が記載されています。

✎ 補足

- 連絡先シールは、集合住宅やユーザーの特定が困難な場所への設置時など必要に応じてご使用ください。

9. 施工後の検査と作動確認

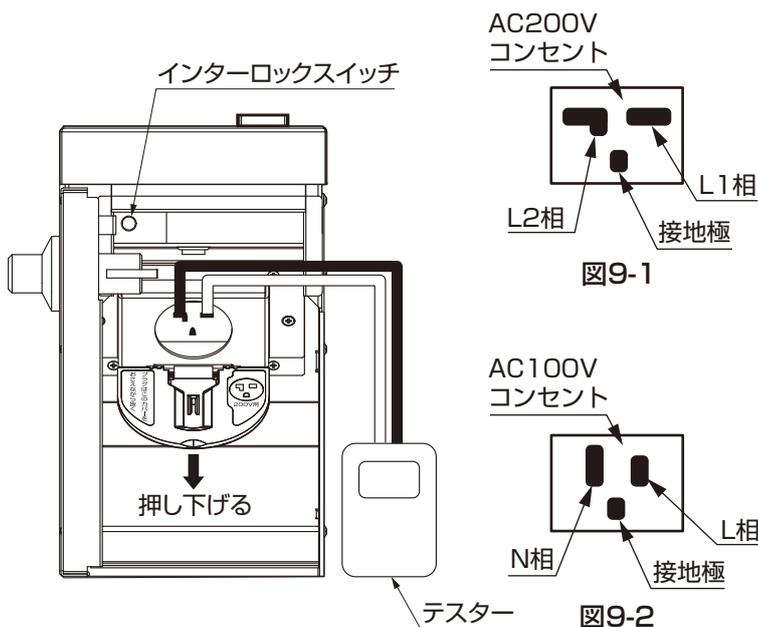
9-1 施工後の検査項目

			判定
配線工事	1	配線は正しく確実に配線されていますか?	
	2	アース線はD種接地工事がされていますか?	
	3	結束バンド(張力止め)が施されていますか?	
	4	1回路につき1個の漏電ブレーカが設置されていますか?	
	5	漏電ブレーカの定格容量は正しいですか?	
動作確認	1	充電BOXの扉を開けた時、内照用LEDが点灯していますか?	
	2	充電BOXの扉を閉じた時、コンセントに定格電圧が供給されていますか?	
	3	扉の施錠が確実にできますか?	
引き渡し確認	1	ダイヤル錠解錠シールを取扱説明書(17ページ)に貼り付けましたか?	
	2	取扱説明書(兼保証書)とダイヤル錠解錠シール(1枚)は必ずお客様へお渡しください。	

ポイント

●施工終了後、必ず上記の項目を検査の上、「9-2 充電BOXの作動確認」をおこなってください。

9-2 充電BOXの作動確認



①漏電ブレーカをONにし、充電BOXの作動を確認してください。

ポイント

- 充電BOXの扉を開けた状態で内照用LEDが点灯すること。
- 扉を開けた時に電圧が0Vであること。
- AC 200Vの場合、コンセントのL1相、L2相にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧(AC 200V)が出力されていること。(図9-1参照)
- AC 100Vの場合、コンセントのL相、N相にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧(AC 100V)が出力されていること。(図9-2参照)
- テスターを接続した状態で扉を閉められない場合は、インターロックスイッチを押して作動を確認してください。
- 不具合があった場合は、「9-1 施工後の検査項目」の見直しを行ってください。

10. 商品仕様

用途	200 V用	100 V用
定格	AC200 V 20 A	AC100 V 15 A
消費電力	2 W(車両充電容量は除く)	
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 40 °C	
その他機能	ダイヤル錠、インターロック、内照用LED	

取説コード

A543

JZZ622490C

201102A_1041
201607D_1039